



令和 6 年 5 月 13 日
松之山支所地域振興課

「美人林を守る会」が「自然環境功労者環境大臣表彰」を受賞しました

令和 6 年 4 月 30 日に、令和 6 年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰の表彰者が決定し、「美人林を守る会」が保全活動部門において、当市では初となる自然環境功労者環境大臣表彰を受賞しました。

1. 自然環境功労者環境大臣表彰の目的

自然環境の保全に関して顕著な功績があった者（又は団体）を表彰し、これを讃えるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的としています。

※平成 11 年度に創設され 26 回目、新潟県内ではこれまでに 22 の団体・個人が受賞

2. 受賞内容

(1) 表彰者名 美人林を守る会

代表者 志賀 義雄

(2) 表彰理由 設立以来、新潟県森林研究所、新潟大学等の研究機関と連携して、毎年危険木や枯れ枝除去等の森林整備活動を行い、美人林を健全なブナ林として維持することに尽力

(3) 受賞者の概要

昭和 59 年の発足以来、美人林の環境保全活動を 40 年以上継続している。

令和 3 年度には、「第 33 回森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクール」にて最高賞である農林水産大臣賞を受賞している。

(4) その他

5 月 8 日に環境省で表彰式が行われました。

3. 添付資料

令和 6 年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞者一覧（環境省報道資料）

■お問合せ先

十日町市松之山支所地域振興課 地域振興係
担当：高澤 ☎025-596-3134（直通）

令和6年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞者一覧

【保全活動部門（15件）】

計31名

No.	受賞者	功績概要	功績概要②(表彰状用)	推薦元
1	ゆーだぶりゅーくりーんれいくとうやこ UWクリーンレイク洞爺湖 (北海道)	洞爺湖に生息する特定外来生物ウチダザリガニの繁殖を抑制するため、行政、大学、民間団体と協働して捕獲調査活動に取り組んでいる。また、外来種に係るシンポジウムの主催、JICA研修、北海道山岳連盟自然保護委員会の研修、他市町村の研修を受け入れたほか、洞爺湖町周辺の小中学校でウチダザリガニの環境学習を行うなど、普及啓発活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	北海道地方環境事務所
2	ふなやま まさお 舟山 政男 (山形県)	山形県自然環境保全地域に指定されている沼ノ口湿原において、山形県自然環境保全地域管理員として平成17年度から定期的に巡視活動を行い、湿原内巡視歩道や標識等の維持管理、山林火災等の予防、利用者等に対する事故防止や自然保護の注意喚起、刈払い等の環境整備等を実施し、湿原の自然環境保護活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	山形県
3	しんこうもおかきゅううかい 神鋼真岡旧友会 (栃木県)	毎月1回以上の活動を行っており、森林づくりのための里山林の下草刈り、落葉さらい、倒木・枯死木処理、周辺道路等のごみ拾いなど環境保全活動を長年継続して尽力。	地域の自然環境保護活動	栃木県
4	ちちぶさんがくれんめい 秩父山岳連盟 (埼玉県)	設立当初から秩父連山の自然保護活動を行っている。活動により奥秩父の原生林の伐採の中止等を実現し、甲武信岳を中心とする世界ユネスコ遺産の指定に尽力。	地域の自然環境保護活動	埼玉県
5	かしわざきしよくぶつとものかい 柏崎植物友の会 (新潟県)	柏崎市谷根で発見された新種のコネヤマアザミとタンネアザミを後世に遺すため、学術調査及び移植作業を実施し、絶滅しないよう地域住民への指導、助言等を行い、移植地等の除草を行いながら、稀少植物の生息環境の保全、増殖活動に尽力。また、市民の憩いの場である「夢の森公園」の植栽管理、環境保全活動や市内各所のガーデニング愛好家との交流により、オープンガーデンを実施し、市民に憩いの場と交流の場を提供している。他に柏崎地域の草本、樹木を調査し、市民向けの図鑑、ガイドブックを発行し、市民の意識向上、啓発に尽力。	地域の自然環境保護活動	新潟県
6	びじんばやしをまもるかい 美人林を守る会 (新潟県)	設立以来、毎年危険木や枯れ枝除去等の森林整備活動を行い、新潟県森林研究所、新潟大学等の研究機関と連携して、美人林を健全性なブナ林として維持することに尽力。	地域の自然環境保護活動	新潟県
7	にほんちょうるいほごれんめいとやまけんしぶ 公益財団法人 日本鳥類保護連盟富山県支部	定期的に野鳥観察会を開催し、普及啓発活動に取り組む。一般県民向けに環水公園で観察会や釣り糸清掃などに取り組んだほか、愛鳥週間の各種行事へ協力し、富山県との共催でバードウォッチングを開催し、また鳥類関係の調査にも尽力。	地域の自然環境保護活動	富山県
8	なすの まさよし 那須野 雅好 (長野県)	平成7年に、オオルリシジミ(環境省のレッドリスト絶滅危惧IA類(CR))の保全を目的に、安曇野オオルリシジミ保護対策会議を立ち上げ、その代表として29年にわたる安曇野のオオルリシジミの保全と、地域の子どもたちへの環境教育に尽力。	地域の自然環境保護活動	公益財団法人日本自然保護協会
9	くぼた しげる 窪田 茂 (山梨県)	昭和46年のやまなし野鳥の会の立ち上げから会員となり、以来50年にわたって、鳥獣保護活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	山梨県
10	みなと しゅうさく 湊 秋作 (山梨県)	紀伊半島のコウモリ類の研究をするとともに、和歌山県や企業と連携してトンネル開発からモモジロコウモリの繁殖洞やコキクガシラコウモリの冬眠洞の保全や、天然記念物「ヤマネ」の研究をするとともに、国内外でヤマネ保護対策のための「キャノピーブリッジ」開発などの保全活動、環境教育に尽力。	地域の自然環境保護活動	公益財団法人日本鳥類保護連盟
11	いまむら のぶひろ 今村 信大 (静岡県)	磐田市の「桶ヶ谷沼」において、環境省レッドリストにおいて絶滅危惧IA類に指定されているベッコウトンボの保護、後継者の育成に尽力。	地域の野生動物保護活動	公益財団法人日本生態系協会
12	ふくちやまかんきょうかいぎ 福知山環境会議 (京都府)	平成17年6月に発足以来、福知山市環境基本計画が掲げる「100年後の子どもたちに誇れる環境のまち福知山」の実現をめざした活動を実施し、市民が自然と親しむ機会を設けつつ地域の自然環境保全活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	京都府

13	たんばちいきのほとけどうをまもるかい 丹波地域のホトケドジョウを守る会 (兵庫県)	淡水魚ホトケドジョウ(絶滅危惧IB類(EN))の継続的なフィールド調査、大雨による土砂流入や個体流失を防ぐための生息地の改善、局所的な絶滅を防ぐための危険分散地の確保などホトケドジョウの保全に努めているほか、小学校での環境学習の一環としてホトケドジョウの飼育を指導したり、地元自治会での学習会等の啓発活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	兵庫県
14	ほっき・しらが・しんやまのしぜんとぶんかをはぐむかい 法吉・白鹿・真山の自然と文化を育む会 (島根県)	みんなで守る郷土の自然(島根県自然環境保全独自制度)に選定された「法吉ミスジカワニナ生息地」や、みんなでつくる身近な自然観察路(島根県自然環境保全独自制度)に選定された「法吉北部地区自然観察路」において、案内道標・解説板・木製階段の設置や安全ロープの取り付け、倒木処理を実施するなど環境整備に尽力。	地域の自然環境保護活動	島根県
15	しらい けいじ 白井 啓二 (山口県)	平成12年から河川清掃に取り組み、平成14年には、日本一きれいな清流・錦川を保全するため、錦川流域の環境保全団体等で構成する「錦川流域ネット交流会」を設立し、定期的に、錦川流域のパトロール及び一斉清掃を実施するなどの活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	山口県

【いきもの環境づくり・みどり部門(4件)】

No.	受賞者			
16	きよすみごるふくらぶ 清澄ゴルフ倶楽部 (埼玉県)	平成5年に公益財団法人ゴルフ緑化促進会入会以来、その緑化協力金により、埼玉県の学校や公園、福祉施設等の社会公共施設の緑化植樹・環境保全・緑化普及啓発等の事業推進に尽力。	みどりの普及等推進活動	公益社団法人ゴルフ緑化促進会
17	たかはし かずみ 高橋 一巳 (千葉県)	平成6年に鳥獣保護管理員に任命されて以来、ガンカモ類調査を始めとした各種野鳥生息調査に積極的に取り組み、また、野生生物の違法捕獲の防止や狩猟者に対する適正狩猟の指導・普及に尽力し、地域をはじめ広く野生鳥獣の保護に尽力。	いきもの環境づくり活動	千葉県
18	ほりえ てるお 堀江 照夫 (福井県)	越前市西部地域の豊かな里地里山を地域内外の交流・協働により保全活用することにより、人と生き物が共生した元気な地域をつくるための取り組みを先導的に実践し、また希少野生動植物(アベサンショウウオ)生息地(ビオトープ等の整備)の環境保全に尽力。	いきもの環境づくり活動	福井県
19	びおっこのかい びおっこの会 (愛知県)	毎月2回、ビオトープ園の管理、生き物調査などを通じて、子供から大人まで自然とふれあい、生物多様性等自然の大切さを学ぶ機会の提供に尽力。	みどりの普及等推進活動	愛知県

【自然ふれあい部門(9件)】

No.	受賞者			
20	たいら さとし 平 智 (山形県)	森林文化都市研究会会長及び庄内自然博物園構想推進協議会副会長兼運営委員会委員長として、地域関係者を牽引し、地域の文化と関連付けながら地域住民が自然に親しむプログラムを作成・実施等、自然とのふれあい活動に尽力。	自然とのふれあい活動	山形県
21	たんぼのがっこうおうえんだん 田んぼの学校応援団 (福島県)	地域の農家の方などが先生となり、小学校・公民館などの人々と連携しながら、昔ながらの手作業により稲作を体験し、地場産業である農業の理解を深める。収穫祭で出来上がった、もち米を用いて、餅つきをし、田んぼの学校応援団と触れ合うなど、教室では学べない体験学習に尽力。	自然とのふれあい活動	福島県
22	なかむら だいすけ 中村 大輔 (滋賀県)	氏が考案した「ダイスケメソッド」と呼ばれる独自プログラムを中心に展開される湿地環境教育・交流イベント「KODOMORUMサークル」において、計画及び運営等に中心メンバーとして携わり、プログラムの核となる子ども会議の全てでファシリテーターとして尽力。	自然とのふれあい活動	公益社団法人日本環境教育フォーラム
23	ふいーんどそさいえー フィールドソサイエティー (京都府)	京都東山の森やその山麓の法然院の寺林などにおける自然観察会、森の手入れ活動、小・中学生を対象とした体験型学習会「森の子クラブ」の開催、また「法然院森のセンター」の運営などを通して環境学習の場を創出し、30年以上にわたって、身近な自然とのふれあい活動に尽力。	自然とのふれあい活動	京都府
24	たかつきさとやまねつとわーく 高槻里山ネットワーク (大阪府)	里地と市街地が混在する地域において、市民参加の里山保全活動や体験イベントを通して自然とのふれあい活動に尽力。	自然とのふれあい活動	大阪府
25	しまだ としかず 嶋田 紀和 (山口県)	平成6年、ボランティア団体「本山会」の設立に貢献。地元の市、自治会、小学校と連携して、竜王山に生育・生息する動植物の保全活動やウォーキング大会を開催するなど、地域ぐるみで自然環境保全活動を通じた地域活性化に尽力。	自然とのふれあい活動	山口県
26	まつだ ひさし 松田 久司 (愛媛県)	幼稚園児を含む市民を対象とした観察会を実施したり、市民向け自然観察ガイドブックの発行や野外調査の成果を研究論文として投稿したりするなど「環境学習、環境管理、環境調査」をテーマとした活動に尽力。	自然とのふれあい活動	中国四国地方環境事務所
27	とくていひえいりかつどうほうじん かわうそ 特定非営利活動法人 かわうそ 復活プロジェクト (愛媛県)	平成17年から自然調査等長期にわたる活動で図鑑やハンドブックを作成、出版。県下で唯一となる日本農業遺産認定に貢献し、現在も世界農業遺産認定に向けた活動に尽力。	自然とのふれあい活動	愛媛県
28	ゆめゆうゆううずい 夢遊友うずい (愛媛県)	平成11年から、地元渦井川流域の不法投棄ゴミの撤去や除草等を行うほか、小中学生から環境美化標語を募集し、標語プレートを作成・学校に設置するなど、環境美化意識の高揚や、次世代への環境教育にも尽力。	自然とのふれあい活動	愛媛県

【調査・学術研究部門(3件)】

No.	受賞者			
29	いけだ とおる 池田 透 (北海道)	外来種の生態・行動・在来生態系への影響と人間社会への対応、及び世界各地におけるヒトと動物の関係について生態学・地域科学的観点から研究を行い、国内外の行政の政策方針決定に大きく尽力。	生物等の調査・研究活動	北海道地方環境事務所
30	のがみ けんじ 野上 健治 (群馬県)	草津白根山、立山室堂地獄谷を中心として、火山活動について調査研究を行うとともに、各地の火山防災協議会や利用者の安全対策協議会等に参画し、専門的な知見から各種取組みについて助言。とりわけ、立山室堂においては、調査研究を重ね、検討会議に参画し、利用者の安全対策について技術的な助言を行う。国内全域の国立公園における火山および海域火山活動を対象とした観測研究及び火山ガスの安全対策(火山防災)に大きく尽力。	火山等の調査・研究活動	信越自然環境事務所
31	ひの かつのり 日野 勝徳 (大分県)	長年にわたり、両生類を中心とした調査研究を行い、県レッドデータブックの作成に尽力するとともに、知見を元に希少野生動植物の保護に助言を行うなど、大分県の自然保護行政の推進に尽力。	生物等の調査・研究活動	大分県